

## 「日清オイリオ」工場見学と「弘明寺めぐり」の散策

3月24日(木)恒例の神奈川県主催による見学会が真冬に戻った寒い気温と霧雨の中総勢34名の参加者により実施した。(尚、埼玉会会員の関谷さんの紹介で日清オイリオ関連会社の「尾利出」さんにアテンドいただいた。)JR 磯子駅改札口から徒歩1分、日清オイリオ(株)磯子事業場を訪れ、係員

の誘導に従い、事業場にはいると、各家庭で使用しているおなじみの油製品が整然と展示されていた。会議室にて、15分位のビデオによる概況説明を受けた後、2台のマイクロバスに分乗し事業場の見学を行った。



当事業場は、敷地面積が23万平米(7万坪)、横浜スタジアム9個分の広さがあり、6万トン級の大型船が接岸できる埠頭と、原料の荷揚げ、搾油、精選、充填と原料の大豆等を11万トン貯蔵するサイロ等一貫して行うことが出来る製造ラインは、各地区の工場(名古屋、水島)の生産拠点として、リード役を担っている。



各事業部門においては、油脂、油精原料を最大限に生かした付加価値商品の提供、食用加工油の開発をマレーシアを拠点としたグローバルな展開、健康オイルを使用したヘルシーフーズの開発、販売、医療薬品等の素材開発販売等、常に食用油の

「おいしさ、健康、美の追求」をモットーとし、各部門の充実を計っている。90分の見学を定刻通り終了後、日ごろ家庭にて使用している同社製品の土産品が配付され喜ばれた。磯子駅付近で昼食となる。



日清オイリオで集合写真

# 弘明寺、弘明寺商店街散策

昼食後、磯子からバス、京急電車に乗り継ぎ京急弘明寺駅に到着した頃は雨も上がっていた。駅裏手に所在する横浜最古の寺(1300年前開山)、高野山真言宗の寺、源頼朝の祈願寺として名をなしている弘明寺の見学を行った。本尊の木造十一

面観音菩薩立像は、国の重要文化財となっている。かつては広大な寺有地も横浜市に譲渡したので現在はこじんまりとした寺になってしまったが、初参りや年間記念行事には、いまだに大勢の参拝客で賑わっているとのこと。



弘明寺見学後、すぐそばの100店舗以上の専門店が軒を並べている300mほどの天候型の「弘明寺商店街」の散策を行った。当商店街は、京急「弘明寺駅」と市営地下鉄「弘明寺駅」に挟まれた位置にあり、交通の便の良さに人気があります。鎌倉街道(国道16号線)に面し、春は商店街の中程を横切る大岡川沿いの桜プロムナードや、弘明寺山の自然

に囲まれた市内で最も古い門前町として栄え、今日まで発展を続けている。最近ではレトロモダンな雰囲気を探し、時折テレビ番組やCMのロケ地として使われている。各人自由に商店街通りをゆったりと散策や買い物を楽しまれたりされ、午後3時頃商店街の中程の「観音橋」にて解散した。



その後有志13名が集い商店街にある「広島風お好み焼き店」で懇親会を行い本日のイベントから日頃の出来事など話題が尽きず大いに語り、飲み、食べて満喫した一日を過ごしたと思います。



文章	蓮井 暁
写真	石川 義明・富山 友次
編集	富山 友次